

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

ねずみの、娘をまうけて、「天下に並びなき婿をとらん。」と、
^Aおほけなく思ひ企てて、「日天子こそ世を照らしたまふ徳めで
 たけれ。」と思ひて、朝日の出でたまふに、

「娘をもちて候ふ。^①みめかたちなだらかに候ふ。^Bまゐらせん。」
 と申すに、

「われは世間を照らす徳あれども、雲に会ひぬれば光もなくな
 るなり。雲を婿にとれ。」

と。^Cおほせられければ、「まことに。」と思ひて、黒き雲の見ゆる
 に会ひて、^②このよし申すに、

「われは日の光をも隠す徳あれども、^③風に吹き立てられぬれ
 ば、何にてもなし。風を婿にせよ。」

と言ふ。「さも。」と思ひて、山風の吹けるに向かひて、このよし
 申すに、

「われは雲をも吹き、木草をも吹きなびかす徳あれども、築地
 に会ひぬれば^④力なきなり。築地を婿にせよ。」

と言ふ。「げに。」と思ひて、築地にこのよしを言ふに、
 「われは風にて動かぬ徳あれども、ねずみに掘らるとき、耐
 へがたきなり。」

と言ひければ、さては、

* を婿にとりけり。

* は何にもすぐれたるとて、

(1) ~~~ A～Cを現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。
 また、それぞれの意味も答えなさい。

(2) ①を口語訳しなさい。

(3) ②の内容を具体的に説明しなさい。

(4) ③を口語訳しなさい。

(5) ④の内容を具体的に説明しなさい。

(6) 本文中の * に共通して入る語を答えなさい。

(7) 本文のように、動物の対話や行動などに例を借り、教訓を説く話を何というか、答えなさい。また、本文から読み取れる教訓を十五字以内で説明しなさい。

高校古典

沙石集「ねずみの婿とり」(読解)

解答

(1) A おおけなく／あつかましく

B まいらせん／さしあげましょう

C おおせられければ／おっしゃったので

(2) 顔かたちは整ってございます。

(3) 太陽よりも優れている雲を娘の婿にしたいということ。

(4) 風に吹き立てられてしまうと、どうにもならない。

(5) 土塀を吹き動かす力。

(6) ねずみ

(7) 寓話 (教訓) 身分相応に生きるべきである。